

令和3年度 沼津高専同窓会総会 議事録

開催日：令和3年11月27日（土） 会 場：プラザウェルデ 302会議室

会場出席者30名、zoom参加者25名

1. 開会の辞 【後藤純緒副会長（M14）】

2. 会長挨拶 【木戸実会長（M6）】

来年度は1万人を越す同窓会員となる見込み。

多くの方が同窓会との関わりを持っていただきたいため、小さな同窓会への支援を実施。

学生、同窓会、先生方との交流を進めていきたい。

3. 名誉会長挨拶 【沼津高専 中村聡学校長】

自己紹介：沼津高専校長就任前は東京工業大学の副学長、微生物を専攻

同窓会からの寄付等へのお礼：ノートパソコンの寄付（20台）、授業料支援制度による学生支援

学校の様子：昨年は入学式中止、分割登校の対応

今年は入学式対面での実施、授業の対面実施、緊急事態宣言中はオンライン、

後期に入り全面登校、高専祭は外部受け入れなく出席者2日に分け実施。

学 生 寮：秀峰寮の建替え、国際寮として国際コミュニケーションの場としての機能付与。

名称の公募を行ったが「秀峰寮」となった。

高専ロボコン全国大会出場：昨年ロボコン大会で32年ぶりに優勝。

今年、地区大会で準優勝、明日、国技館での全国大会への出場予定。

沼津高専創立60周年：高専機構本部が主宰となったイベントが行われる予定

沼津高専でも60周年の事業を実施、同窓会との連携強化していきたい。

4. 議長団選出

議 長：島田裕介（M27） 副議長：杉山美幸（C20） 書 記：賀茂博美（C25/A1）

5. 議事

議長より、参加者数の報告及び採決は参加者の過半数にて可とする旨の告知

① 平成31年度、令和2年度事業報告【木戸実会長（M6）より総会資料をもとに説明】

☆質疑 なし ☆採決 拍手多数により可決

② 平成31年度、令和2年度会計報告【安斎芳之事務長（E26）より総会資料をもとに説明】

コロナ対策として学校へ加湿器、踏みポンプの寄付（約200万円）

同窓生よりコロナ対策のための寄付（211万円）

③ 会計監査報告【名倉光雄監事（M2）より監査報告】

☆質疑 なし ☆採決 拍手多数により可決

④ 令和3年度、令和4年度三役（案）の件【木戸実会長（M6）より総会資料をもとに説明】

木戸会長の退任、役員運用として望月副会長は沼津高専担当としたい旨の提案あり

会 長 長岡善章 (M20)
副会長 筒井正文 (M6)
副会長 後藤純緒 (M14)
副会長 望月孔二 (E15) (沼津高専担当)
事務長 安齋芳之 (E26)

☆質疑 なし ☆採決 拍手多数により可決

⑤ 令和3年度、令和4年度事業計画(案)の件【長岡善章会長(M20)より総会資料をもとに説明】

その他事業にて、企業理事を活用していきたい。企業理事は現在2名。
企業理事とは、同窓生が多い企業において企業の窓口になっていただく役割である。
沼津高専60周年への協力支援を実施していきたい。

☆質疑 なし ☆採決 拍手多数により可決

⑥ 令和3年度、令和4年度予算(案)の件【安齋芳之事務長(E26)より総会資料をもとに説明】

寄付金をコロナ対応専用で使用していく。主に学生援助費へ活用していきたい。
寄付は引き続き続けていきたい。

☆質疑 なし ☆採決 拍手多数により可決

⑦ その他

○仁科和晴(M2)より、沼津高専のロボコン強化の要因は何か?とのご質問あり。

中村校長より、顧問の青木先生のご指導の成果、またはコロナ禍により地区大会の開催方法に変化があった。個人がパートごとに自宅で作成し、大会前に体育館で合わせる方法であり、大会もオンラインであった。自分のところでの調整が可能であったことも要因ではないか。

明日の国技館での全国大会でこれまでの成果が出るものと思われる。

○議長団より、木戸会長へのお礼、長年にわたり会長としてご尽力いただいたことに感謝

○安齋事務長より報告事項

学生援助募金について「コロナ特別基金」へ 延べ60名、211万円のご寄付があった。

今後も寄付活動は継続していきたいため、皆様からのご協力をお願いしたい。

○西田友久顧問(M12)より

昨年39年勤めた母校を退職、現在は嘱託教員として勤務。

教職員の人数、研究費も削減方向であり、学校、学生への支援を今後もお願いしたい。

8. 令和3年度、令和4年度三役挨拶

新会長 長岡善章(M20) 新任

同窓会への関わり20年ほど前から。先輩方が繋いだものを繋げていきながら少しずつ発展をしていきたい。同窓生のための同窓会としてできることに取り組んでいきたい。

副会長 筒井正文(M6) 留任

本日の総会の準備は早くから若手中心に実施してきた。そのような中で自分も協力できるところ

は一緒に頑張っていきたい。

副会長 後藤純緒 (M14) 留任

更なる若手の常任理事への徴用を広げ、若手の意見を取り入れた新しい試みの繋ぎ役として努めたい。

事務長 安齋芳之 (E26) 留任

自分は同窓会の二世となる。同窓会に入るきっかけは、先生方の多忙さを見て、何か役に立てないかと活動に関わってきた。学生の皆さんへの支援を積極的に行っていきたい。

9. 連絡事項

特になし

10. 閉会の辞 【筒井正文副会長 (M6)】